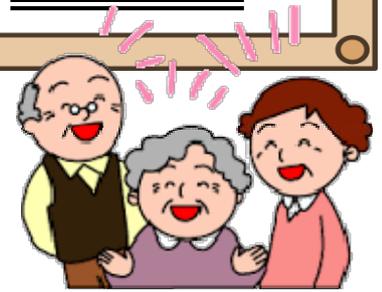


和地ひとみレポート No.245

社会福祉協議会主催 “東大和市 ともに生きるまちづくりフォーラム”
『自分にも、家族にも、地域にも良い』



■ともに生きるまちづくりフォーラム

…7月22日(土)の午後、東大和市社旗福祉協議会主催の“東大和市 ともに生きるまちづくりフォーラム：ささえあい～今のわたしにできること～”が開催されました。このフォーラムは『誰もが安心して暮らせるまちづくりをすすめるために、私たち一人ひとりに何ができるのか、地域の支え合いについて一緒に考えてみる』ために開かれました。参加は無料、要申込、定員300名(ハミングホール小ホールでの開催のため)でしたが、想像以上に多くの方が参加されており、会場はほぼ埋まっている状況でした。

…フォーラムでは、公益財団法人さわやか福祉財団の理事長である清水肇子氏の基調講演「みんなで創ろう助け合い社会」や市内で高齢者のサロン活動等を支えている人たちのパネルディスカッションが行われ、東大和市の現状と課題、目指すべき方向性を共有できる内容となっていました。

■東大和市の現状

…フォーラムでは、最初に東大和市福祉部職員から『東大和市の現状と介護保険制度』についての説明があり、なぜ、地域の支え合いが必要かについて東大和市の状況が示されました。

…まず、東大和市の人口と高齢化率や今後の東大和市の高齢者数の推移(予想)、そして以前から言われているように、今後は2050年には65歳以上の人、1人を支える20歳～64歳の人は1.2人(推計)になることが示され、『少子高齢化⇒高齢者の支援が求められる場面が増える⇒一方で、支援の提供が減る事態が生じ、今後、介護職員の人材不足も懸念されていることから、介護保険サービスのみでの対応は困難になる』という課題があると説明がありました。

【東大和市の人口と高齢化率】

◇平成29年6月1日現在

人口:85,910人

世帯数:38,517世帯

※世帯数のうち65歳以上の単身世帯数は5,914世帯

高齢化率:26.07%(65歳以上の人口22,400人)

後期高齢化率:12.81%(75歳以上の人口11,001人)

◇東京都との比較(平成29年1月1日現在)

	人口	65歳以上	高齢化率
東京都	13,530,053	3,044,811	22.50%
東大和市	85,945	22,222	25.85%

…この示された“課題”＝“近い将来、介護保険サービスのみでの対応は困難になる”ことを解決するため、国も地域での支え合いの仕組みづくりの重要性を示しています。

■区市町村で違う介護保険料

…2000(平成12)年4月に施行された介護保険法ですが、3年に1度、見直しが行われています。東大和市でも介護保険制度の改正にそって介護保険事業の計画を作成。現在は第6期介護保険事業計画(平成27年度から平成29年度)にのっとり事業を行っています。

…ご存知のとおり介護保険制度は、加入者が保険料を出し合い、介護が必要なときに認定を受けて、必要な介護サービスを利用する制度です。40歳以上の国民には加入する義務があります。要するに、40歳以上の国民全てから介護保険料を納めてもらい、いざ介護が必要になったら個人負担を抑えましょうという仕組みです。その財源は、税金投入50%(国:25%、都道府県12.5%、市区町村12.5%)と保険料50%となっています。

…実施主体は市区町村です。市区町村は保険者として、保険料と公費を財源として介護保険事業を運営しています。40歳以上65歳未満の方(第2号被保険者)の保険料については、厚生労働省が1人あたりの負担率を設定。(今年の7月まではこの方式ですが、8月から総報酬に対しての割合負担に変更されます)しかし、65歳以上の方(第1号被保険者)の介護保険料は、市区町村ごとに決められています＝市区町村で違います。

…各市区町村では、まず介護サービス給付額の見込みに基づいて3カ年(現在は平成27年度から平成29年度まで)の予算を決め、その予算総額の21%の額を第1号被保険者の保険料で賄うこととします。そして、その総保険料を、各市区町村で管理している65歳以上のかた(第1号被保険者)の総数で割って年間の介護保険料を算出。これを「介護保険料の基準額(年額)」とします。そして、所得基準を段階に分けて、基準額にそれぞれの保険料率を掛けて各被保険者の保険料を決定。これも市町村によって違い6段階～15段階と様々です。(東大和市は6段階)

…東大和市の現在(第6期)の第1号被保険者の基準保険料は月額¥4,800。前期(第5期)と比較すると、¥500アップしている状況です。

(裏面に続く)

【近隣他市などの第6期第1号被保険者の基準保険料（月額）】

※厚生労働省HPより

	第6期保険料	第5期保険料	前期と比較した 基準額の 伸び率	高齢化率 H27年10月1日 時点(推計値)	高齢者(65歳以上) に占める後期 高齢者(75歳以上) の割合	要介護認定率 H26年12月末時点
東大和市	¥4800	¥4300	11.6%	25.3%	46.0%	15.2%
東村山市	¥5750	¥5284	8.8%	24.8%	50.3%	19.5%
武蔵村山市	¥4550	¥4283	6.2%	26.5%	42.5%	12.9%
小平市	¥5100	¥4700	8.5%	23.2%	49.9%	17.6%
立川市	¥5880	¥4967	18.4%	25.4%	44.9%	17.7%
都内で最高額 港区	¥6245	¥5250	19.0%	18.3%	47.8%	19.8%
都内で最低額 多摩市	¥4550	¥4283	6.2%	26.5%	42.5%	12.9%

【全国の1号被保険者の基準保険料の平均（月額）の推移】

※厚生労働省HPより

第1期(H12~H14) ¥2,911 ⇒ 第2期(H15~H17) ¥3,293 ⇒ 第3期(H18~H20) ¥4,090 ⇒ 第4期(H21~H23) ¥4,160

第5期 (H24~H26) ¥4,972	➔	第6期 (H27~H29) ¥5,514 (+10.9%)	➔	H32年度 (見込み) ¥6,771 (+36.2%)	➔	H37年度 (見込み) ¥8,165 (+64.2%)	【第6期の全国で最も安い保険料】 鹿児島県 三島村 ¥2800 【第6期の全国で最も高い保険料】 奈良県 天川村 ¥8686
----------------------------	---	--	---	--------------------------------------	---	--------------------------------------	---

■支え合いの意味

…清水氏の基調講演の中でドキッとしたのは「夢の長寿を手に入れたはずなのに喜べないのはなぜか？」という言葉です。少し前までは“どうしたら長生きできるか”と考えていたはずなのに、今は、高齢化社会は少し暗いイメージです。その原因は、長生きをしても安心安全、プラス尊厳ある暮らしができて不安になるからだとのことです。

…どこまでを公的なサービスで担うかということは、前述のとおり、各自治体で判断することですが、100%公的サービスで賄うことが困難なことは一目瞭然です。もちろん、介護予防のために自身で体力づくりなどに取り組むことも必要ですが、自身で意図せず、誰かの介助が必要な状態になることもあります。そんな場合でも、自分の出来ること、得意なこと誰かの役に立てることがあれば、生きがいも出来、体調の改善も見られるとのことです。ずっと支えられる側で「ありがとう」ばかり言って暮らすのは疲れる。「ありがとう」と言われたい—これが支えられる側ばかりが長くなった方の気持ちだそうです。しかし、これが「支え合い」になることで、自分の生きがいも、尊厳も保てるようになるとのことです。そのためには、そういう“場”や“人とのつながり”が不可欠です。



■自分も、家族も、地域も…みんないい

…今、全国では高齢者の方だけではなく、子育て世代、子ども達も気軽に集まれるサロン活動が盛んになっています。そこでは、少額のお茶代などを払い（無料だと参加者も遠慮したりして長続きしないため）、おしゃべりをしたり、子ども達に習字や将棋を教えたりする高齢者の姿があります。今回のフォーラムでは、このような“地域の支え合いの場”を市民の力で創造していくことを推奨。すでに、東大和市内でも様々、活動されているグループはありますが、まだまだ十分とは言えません。

…もちろん地域にそのような活動の場や仕組みできることは素晴らしいことですが、その一歩手前の“地域のつながり”がまずは重要です。そのためには、市民一人ひとりが地域とつながる重要性を認識することが必要。H25年度に市が実施したアンケートでは、高齢者の社会参加の状況については「していない」という回答が最も多く5割を超えています。支え合いの実現には「参加しやすい場をつくる」「声をかける」「本人が積極的に行動する」「行政がフォローする」…この中の一つが決定打ということではなく、最終的には市民一人ひとりの意識ではないかと思いました。市では「わたしのまちの介護予防ガイドマップ」も作成しています。まずは、それを多くの方に知っていただきたい。前述の財政的な問題だけでなく、この取組みは本人、ご家族、地域、皆が Win-Win となれる取組みです。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102